

[2017/2018]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/1935649>

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2017/2018, pp.1-, 2018-06. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2017/2018

九州大学附属図書館年報 2017/2018



CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際化	10
講習会/Cute.Guides	11
新規コレクション・デジタル化コンテンツ	12
研究開発室	13
職員研修	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映	24
図書館日誌	25



附属図書館長
宮本 一夫

はじめに

30年10月には新中央図書館がよいよグランドオープンいたします。そのため、29年度は着実に移転準備を進めてきたところです。6月には新中央図書館サービス移行スケジュールの広報を開始し、関連部局の教授会でも丁寧な説明を行い、移行に伴う学生・教員の不利益を最小限に抑える工夫を行っています。

28年10月にプレオープンした伊都キャンパスの新中央図書館は、9月末に建物の残り3分の2が完成し、建設工事がすべて完了しました。ダイナミックな吹き抜けとそれに面する壁面書架は、移転完了後にはアカデミックでかつ豪華な雰囲気を醸し出すでしょう。29年度中には書架がすべて配置され、閲覧席の机・椅子などの什器はグランドオープンまでに完全に配置される予定です。また、11月にはイーストゾーン連絡橋が完成し、センターゾーンからのアクセスが格段に増しました。自動書庫には、30年3月末までに約100万冊の移転が完了しています。文系合同図書室も30年3月30日を以て閉室し、今後、移転作業が本格化いたします。

箱崎キャンパスは、30年秋の伊都キャンパス移転完了とともに、その歴史に幕を下ろします。そのため箱崎キャンパスへのお別れのイベントを実施・協力いたしました。中央図書館および新中央図書館では、九州大学文書館と文学部との共催により、写真展「ありがとう箱崎キャンパス」を開催しています。これは、九州帝国大学創設期から戦後の新制大学、さらに学生運動から現在に至るまでの箱崎キャンパスの歴史を写真で振り返るものです。併せて、九州大学大学院人間環境学研究院の箱崎キャンパスデジタル保存プロジェクトが制作した歴史的建物の3D映像を公開上映しました。また、関連企画として、学生団体「箱崎九大記憶保存会」による展示「箱崎街角スケッチ」や九州大学大学院法学研究院・九州大学法学部同窓会主催箱崎キャンパスお別れイベントとタイアップした展示「金田平一郎と九州大学附属図書館」などを中央図書館で開催しました。

29年11月に「九州大学教育改革推進本部」が設置され、付設教材開発センターは「教育方法・教材開発部門」としてその中心的な役割を果たしていくこととなります。引き続き当センターでは、電子教材開発、授業撮影・公開、研究者ビデオ、FD講習会、電子教材の著作権に関する取り組みなどの様々な活動を行っています。

教育改革の推奨を目的とした学内プログラム「教育の質向上支援プログラム（EEP）」で、採択された附属図書館のプロジェクトである「教育の国際化に対応した学習支援環境の構築—アクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の大学図書館をめざして—」は、最終年度を迎えました。図書館TA(Cuter)を中心に図書館学習サポーター事業の推進をすすめつつ、教育の国際化に対応した図書館利用教育の拡充をめざしました。

29年12月には図書館計算機システムの更新に伴い、図書館Webサービスをリニューアルしました。また、リニューアルされた九州大学教員活動進捗・報告システム(Q-RADeRS)と九州大学学術情報リポジトリ(QIR)の連携が始まり、Q-RADeRSからQIRへの登録が可能になりました。29年1月1日から「九州大学オープンアクセス方針」の運用を開始していますが、QIRへの登録数がより増加することが期待されます。

この他、瀆文庫から現代中国の著名な作家冰心の手稿『春水』が発見され、国内外のメディアに取り上げられ、話題となりました。また、トーマス・マンによる手書きの書簡を含む計10点の資料が高橋文庫に追加寄贈されました。

新中央図書館の建物が竣工・移転完了に向けて準備が進行中

30年10月の新中央図書館グランドオープンに向けて、29年度中も着実に準備を進めていきました。

6月には、附属図書館Webサイトの新図書館・移転関連情報のページを整備し、新中央図書館サービス移行スケジュールの広報を開始しました。このスケジュールの内容は、各文系部局の教授会でも説明を行いました。また、タイムリーな情報提供や新中央図書館への期待感創出のため、新図書館情報Instagramアカウントの運用を開始しました。移転に関する情報、新中央図書館の建物や資料移転、什器設置等の様子を随時発信しています。

9月29日には建設工事がすべて完了し、ダイナミックな吹き抜け空間と壁面書架を備えた建物が竣工しました。つづいて、11月には、イーストゾーン連絡橋が開通し、伊都キャンパスの中心部から新中央図書館へのアクセスが格段に向上しました。これを機に、部分開館中エリアの利用促進を開始しました。まずは、新中央図書館カウントダウンプロジェクト第1

弾として利用者参加型イベント「『定礎』を探せ!」を実施し、利用者に新中央図書館へ足を運んでもらうきっかけづくりを行いました。授業やイベントでのアクティブ・ラーニング・スペースの活用や、学内者の見学も増加し、新中央図書館への期待が高まっていることが感じられます。

新中央図書館への資料移転も着々と進んでいます。30年3月末時点で新中央図書館自動書庫へ約100万冊の移転が完了しました。移転元の各図書館・室では、移転準備作業要員の雇用、学内ワークスタディプログラムの活用及び職員一斉作業等により、資料移転に伴う種々の準備作業を実施しました。作業は、重複調整及び除籍、装備、データ整備、各図書館・室からの資料の事前集約、資料保存対策等多岐にわたりました。

什器に関しては、29年度中に利用者スペースへの書架の設置が完了しました。閲覧席の机や椅子については、新規に購入するだけでなく、箱崎キャンパスで使用中のものをリペアして活用することも含めて検討し、詳細を決定しました。



新中央図書館外観



1階から吹き抜けの大空間を仰ぐ

箱崎キャンパスお別れイベントの実施・協力

30年秋の伊都キャンパスへの移転完了に伴い、九州大学箱崎キャンパスは100年余の歴史に幕を下ろします。附属図書館では、学内各部署や学生団体と連携し、様々な箱崎キャンパスへのお別れイベントを実施・協力しました。

●写真展「ありがとう箱崎キャンパス」

中央図書館及び新中央図書館では、九州大学大学文書館・文学部との共催により、29年10月から写真展「ありがとう箱崎キャンパス」を開催しています。九州大学創設期から戦前戦後にかけての移り変わりや、キャンパスの日常風景、1968年の米軍機墜落に端を発した学生紛争など、人々が学びあい時を紡いできたキャンパスの様々なシーンを映し出す内容で、中央図書館では、30年7月末の閉館までの間、会期を7回に分け各回30~40点の写真を展示しています。

会場には、学生・教職員のOBや地域の人々が日々訪れ、じっくりと写真を眺めては往年の箱崎キャンパスに想いを寄せ、当時の思い出などをメッセージとして残してくれています。

●関連企画

学生団体「箱崎九大記憶保存会」による展示「箱崎街角スケッチ」を、中央図書館きゅうと commons にて開催しました(30年1月~3月)。本展示は、箱崎地区のお店へのインタビューや電車沿線の写真など、2007年からの活動の中で蓄積してきた箱崎の街の記憶と記録をパネル化し

般公開したものです。(後援:九州大学文学部同窓会・文学部歴史編纂室)

また、中央図書館3階情報サロンでは、九州大学大学院人間環境学研究院の箱崎キャンパスデジタル保存プロジェクトにおいて製作された歴史的建物の立体映像を公開上映しました。

そのほか、九州大学大学院法学研究院・九州大学法学部同窓会が主催する箱崎キャンパスお別れイベント「大人のオープンキャンパス」とのタイアップ企画として、展示「金田平一郎と九州大学附属図書館」(p.7参照)や、法制史関係貴重書の展示を行いました。



写真展「ありがとう箱崎キャンパス」

文系合同図書室が閉室

文系合同図書室は、新中央図書館への移転作業本格化のため、30年3月30日午後5時をもって閉室しました。長い間、ご利用ありがとうございました。4月から7月までは、平日12時～17時の時間帯に、2階新着雑誌室のみ部分開室しています。

文系合同図書室は、文系4学部(文学部・教育学部・法学部・経済学部)の図書室を統合し、17年4月に誕生し、豊富な研究図書を中心に150万冊以上の蔵書数を誇り、各部局の学生・教職員へサービスを提供してきました。約3.5メートルの書架に文学部の各講座資料が並んだ北書庫1層をはじめとした特徴ある書庫を有し、利用者に長年愛されてきました。



法学部棟中門(文系合同図書室前)で咲き誇る桜



北書庫1層

付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

1. 部局との連携及び学生協働によるICT活用電子教材の開発と開発支援

基幹教育院や各部局との連携及び学生協働により、ディベート教育支援教材、ストレス緩和の学習支援教材、留学生向け漢字学習教材、学生生活QOL(Quality of Life)メンタルケア教材、歯科治療トレーニング学習教材など、ICTを活用した双方向型電子教材の開発に取り組んでおり、これらの電子教材は授業等で利活用されています。

継続して取り組んでいる基幹教育科目の英語化支援については、29年度は、総合科目「サイバーセキュリティ基礎論」の英語化を実施しました。

また、LOD(Linked Open Data)に基づく教材開発環境を構築するシステムを複数年プロジェクトで実施しています。

2. 映像教材等の撮影・公開

本学の授業、講演会、講習会、各種イベント等を撮影・収録し、本学Webサイトをはじめ、YouTube、iTunesU、OCWにより30年3月末現在1,094件の動画等を学内外に広く公開しています。

26年度から継続して制作・開講しているJMOOC講座は、29年度は「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」を再開講し、反転授業は、杏林大学との共催により実施しました。

また、本学の優れた研究者の最先端の研究内容や、若手研究者のユニークな研究内容など、本学の研究レベルの高さを広く国内外にアピールすることを目的とし、28年度から取り組んでいる「研究者紹介ビデオ」については、30年3月時点で17名の制作を終え公開しています。

3. 電子教材の著作権に関する取り組み

電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等について解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDで開催しました。(29年度：5回開催、50名参加)

また、国際医療福祉大学医学部の吉田素文教授(元・本学附属図書館副館長)を講師に招き、全学FDで著作権セミナーを開催し、電子教材の制作・利用に関わる著作権法改正の動向について講演していただきました。

【日 時】平成30年 3月 1日(木) 13:30～15:00

【会 場】九州大学(伊都)新中央図書館 講習会スペース

【主 催】九州大学附属図書館付設教材開発センター

【講 師】吉田素文 教授(国際医療福祉大学医学部 副医学部長・医学科長、元・九州大学附属図書館副館長および教材開発センター協力教員)

【参加者】50名(学内32名、学外18名)



23年3月に刊行した「大学教育における他人の著作物を含む電子・オンライン教材の作成と利用に関するQ&A」の第3版は、新たに英語版を制作し、29年4月に日英の電子版で公開しました。

大学学習資源コンソーシアム(CLR: Consortium for Learning Resources)においては、本学が中心となって活動している、活用ガイドラインWGによりガイドライン「大学学習資源における著作物の活用について」をまとめ、28年4月にWeb公開したのに続き、本ガイドラインの英語版を制作し、29年4月に公開しました。

4. 教育改革推進本部の設置

教育データに基づく教育改革のPDCAサイクルを確立させ、各学部・学府との連携のもと、全学的な教育改革を推進し、教育の国際的な通用性を高めることを目的に、29年11月に「九州大学教育改革推進本部」が設置されました。教育改革推進本部に置かれた5部門の中の1つとして、電子教材等の開発・活用、教育方法の開発支援を担う「教育方法・教材開発部門」が設置され、教材開発センターが中心的役割を果たしていくことになりました。

現代中国の著名作家・冰心の手稿本発見

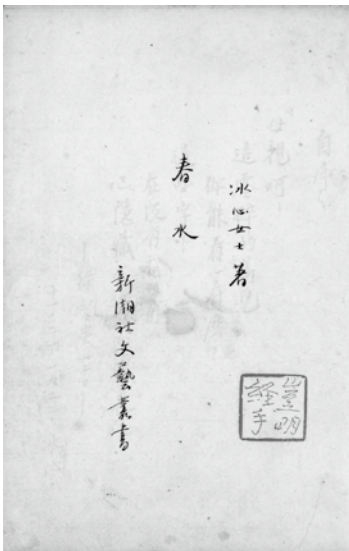
附属図書館の演文庫(故濱一衛名誉教授の蒐集コレクション)から、現代中国の著名作家・冰心の自筆原稿が発見されました。中里見敬教授(九州大学大学院言語文化研究院, 附属図書館研究開発室員)らの研究グループにより、執筆から95年後に確認されたものです。冰心22歳のときに書かれたこの原稿は、現存する冰心手稿の中で最も早い時期の完全原稿で、中国現代文学の第一級の原資料です。昨年公開された周作人(1885-1967、魯迅の実弟、北京大学教授)の1939年の日記に、『春水』手稿本を濱一衛(1909-1984、はま・かずえ、九大名誉教授)に贈る旨記されていたことから、演文庫に所蔵される『春水』手稿本の由来が判明しました。また、『春水』出版時に周作人が編集を担当していたことから、この原稿が冰心による自筆原稿であることが確実になりました。

今回の手稿発見のニュースは、6月20日の発表後、国内外のメディア

で取り上げられ、大いに話題となりました。

6月27日には、中国駐福岡何振良総領事一行が来館され、『春水』手稿本をご覧になりました。本学文学部の学生による『春水』の朗読が披露されると、熱心に耳を傾けられ、中里見教授や宮本附属図書館長、中国人留学生らと和やかに意見を交わされました。また、本学の学生が企画運営している中国語ランゲージテーブルという活動の中で、中国人留学生が『春水』の詩を日本人学生に解説するなど、ちょっとした『春水』ブームが起こりました。さらに、30年2月には『春水』手稿と日中の文学交流』をテーマとした国際シンポジウムが開催されました(p.8参照)。

戦前の中国の文人と日本人留学生の交流は、戦中・戦後の混乱で中断を余儀なくされましたが、戦後80年の時を経て、新たな中国と日本の交流を生み出しています。



冰心自筆表紙、「豈明經手」(周作人)印



『春水』の朗読を披露する本学学生



『春水』手稿本を閲覧する左から何総領事と丁剣教育室長、中里見教授、宮本附属図書館長

インターンシップの受け入れ

29年度は統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻から、インターンシップの大学院生1名を受け入れました。受講生は、6月23日から9月8日まで、本学でのデータベース講習会の開催にあたり、その企画段階から実施後の評価段階まで一連の流れに業務として携わりました。加えて、インターンシップの最終日に、およそ50時間にわたる業務体験をふまえたプレゼンテーションを行い、図書館の研究支援に関する改善策を提案しました。

また、本学の基幹教育科目「九大インターンシップ」履修の学部生2名を2週間にわたり受け入れました。業務体験のほか、各キャンパスの図書館見学、若手職員との交流などを行いました。受講生からは、図書館サービスの裏側を見ることができて有意義だった、今回の経験を今後に生かしたいという感想があり、充実したインターンシップとなったようでした。



九大インターンシップ 資料整備室での作業の様子

展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

さよなら箱崎キャンパス企画展示「金田平一郎と九州大学附属図書館」

【期 間】平成30年3月1日(木)～3月26日(月)

【会 場】九州大学(箱崎)中央図書館3階
回廊および第2情報サロン

【主 催】九州大学附属図書館、九州大学大学院法学研究院

【企画・監修】和仁かや(九州大学大学院法学研究院 准教授)

梶嶋政司(九州大学附属図書館付設記録資料館 助教)

中川晃一(九州大学大学院人文科学府 博士後期課程)

【来場者】315名

・監修者によるギャラリートーク

【日 時】平成30年3月10日(土) 14:30～

【会 場】九州大学(箱崎)中央図書館3階回廊

【参加者】25名

九州帝国大学法文学部法制史講座教授 金田平一郎博士(1900-1949)は、法制史学分野で重要な業績を残した先駆者ですが、膨大な史料蒐集や第13代附属図書館長としての尽力などを通じて、九州大学附属図書館にも多大な貢献をしました。

移転の前に資料整理を進めていくなか、書庫や法制資料に混排されていた博士の旧蔵書やご遺品の文庫化(「金田文庫」)が実現したことで、法文学部の学問伝統を象徴するような博士の功績が一層明らかとなり、その拠点となった箱崎の地で顕彰したいと本展示を企画しました。九州文化史研究所の設立に関わり、附属図書館長も務めた金田博士の足跡を辿る試みは、箱崎での附属図書館と記録資料館の歩みを振り返ることであります。

展示品は、博士のご遺族から寄贈いただいた博士所縁の品々を含む43件。金田文庫だけでなく記録資料館九州文化史資料部門からも出品され、これまで知られて来なかった多くの貴重資料を含んでいます。一つ一つを熱心にご覧になる来場者が多く、感嘆の声を洩らす方も見受けられ、また福岡大空襲で焼失した史料収蔵機関や今はなき玉泉館の貴重な写真、現在の保存図書館の映像等を用いて作成したショートムービーには感動したとの感想も多くいただきました。

またギャラリートークには監修教員の二氏その他、金田博士から直接教えを受けた秀村選三氏(九州大学名誉教授)もお越し下さり、展示品の一つでもある、秀村氏が博士から譲り受けた永代身売証文のお話を伺うなど、法文学部の礎を実感出来る貴重な機会となりました。



ギャラリートークの様子

国際シンポジウム「『春水』手稿と日中の文学交流—周作人、冰心、濱一衛」

【日 時】平成30年2月6日(火)

【会 場】九州大学(伊都)新中央図書館 アクティブラーニングスペース

【主 催】九州大学QRプログラム・特定領域強化プロジェクト「人社会系アジア研究活性化重点支援」(中里見敬(九州大学大学院言語文化研究院教授))

【共 催】九州大学附属図書館、科研費基盤研究(B)「濱文庫所蔵議単・レコードのデータベース化と保存法の改善」

本シンポジウムは「東アジアの交流と文学」国際シンポジウム第1回として開催され、今回はTopicsでもご紹介した「冰心『春水』手稿本」にまつわる研究成果の発表や討論を、国内外の研究者が集まり活発に行う会となりました。

また、関連してシンポジウム冒頭のセレモニーでは、中国駐福岡何振良総領事から祝辞を賜るとともに、今回あらたに濱文庫(故濱一衛名誉教授の蒐集コレクション)へ寄贈となった書4点と書簡7点に対して、寄贈者である濱一衛氏の御息女・藤本康子氏と書の由来である周作人の御令孫・周吉宜氏へ宮本一夫図書館長より感謝状をお贈りする贈呈式が行われました。時代と国境を越えた交流は、改めて感動を呼び、この模様はTVでも放映されました。

これにあわせて会場となったアクティブラーニングスペースでは、冰心『春水』手稿本、濱文庫新規寄贈の書4点、書簡7点をはじめとして、周作人署名入り著書、戯単、唱本類、濱一衛の著書や講義ノートなど約30点を特別に展示しました。関係者、研究者が展示資料を通して互いに語らう場ともなり、学術における国際交流の良い機会にもなりました。

【内 容】

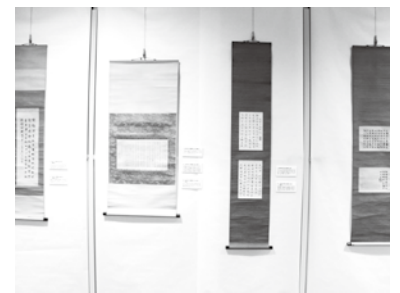
開会式、記念セレモニー

基調講演

学術シンポジウム



中国語で開会の挨拶をする
宮本附属図書館長



附属図書館に寄贈された周作人等の書

図書館TA(Cuter)による企画イベント

図書館に自立的な学びの雰囲気を生み出すため、図書館TA(Cuter)が専門知識や経験や人脈を活かしたイベントやテーマ別図書展示を図書館職員と協働して企画・実施しています。

(主なイベント)

●Quricon

理学府の院生を中心に始まった学際交流団体とCuterが合同企画する研究交流イベントです。Cuterも毎回発表者として登壇し、自身の研究内容を専門外の人にも分かりやすく説明します。

●Cuter Café

Cuterが主に学部生の知的好奇心を育てることを目的に企画するイベントです。平成29年度は本の交換会や就職内定者によるトークイベントを実施しました。

●九大101冊読書会

“九大100冊”の中からテーマ本を選ぶ「九大100冊 —Classic Books Library Cafe—」読書会を平成27年から開催してきました。29年度は、“九大100冊に追加したい1冊”を先生方から推薦いただき、その図書による読書会を、「九大101冊読書会」と称して新たに始めました。



九大101冊読書会

芸術工学図書館「サイエンス・プランター」

【会場】九州大学芸術工学図書館1階 AIVEA

【参加者】168名(全8回の合計)

芸術工学図書館ではサイエンスカフェ形式で気軽な雰囲気のセミナー「サイエンス・プランター」を開催しています。本セミナーでは教職員や学生が行う研究や活動を紹介し、新たな興味の「芽」を育むことをコンセプトとしています。

(各回紹介(2017年度 8回開催))

- 【第1回】7/20 妹尾武治准教授(芸工)『使ってはいけないエセ心理学使ってもいい心理学』
- 【第2回】8/9 伊藤浩史助教(芸工)『生物のリズム現象:科学と芸術の交差点』
- 【第3回】9/14 平松千尋助教(芸工)『他者の眼をとおして知る私~色覚の進化と多様性~』
- 【第4回】10/19 小林良彦特任助教(基幹教育院)『サイエンスカフェをデザインしよう!』



- 【第5回】11/15 水野諒さん(芸工 DS専攻修士2年)『卒業する僕から 在校生の皆様へ伝えたいこと』
- 【第6回】12/5 荒木陽三さん(芸工 学振 特別研究員)『音環境・楽器デザインにおける数値シミュレーション』
- 【第7回】1/31 津田三朗さん(芸工 工作工房 技術専門員)『「物語を形づくる」-物語の道具と美術-』
- 【第8回】2/20 森本有紀助教(芸工)『CGと芸術工学』

医学図書館シリーズ展示~図書館にはこんな本あります~

【期間】前期 平成29年6月20日(火)~8月21日(月)

後期 平成29年10月31日(火)~平成30年3月20日(火)

【会場】九州大学医学図書館 1階ロビー

総合大学であるメリットを活かし、医学系の学生や研究者にとって有益な本を全図書館から集めました。2、3週ごとにテーマを入れ替え、医学図書館1階ロビーにて展示しました。(全12回)



展示の様子

(テーマ一覧)

(前期)

1. コミュカを上げる本
2. 癒される本、気分転換できる本
3. 試験やプレゼン(ゼミ・学会)対策の本
4. 夏休みに読みたい本

(後期)

5. 秋といえば〇〇
6. 研究や実験に役立つあれやこれ(各種ソフト、ノウハウ、考え方)
7. 英語を「書く」「読む」「聞く」
8. 新しい扉を開いてみよう
9. 芥川賞、直木賞... ささまざまな受賞作品(いろんな文学賞含む)
10. 心を動かす文章術、思いを伝えるプレゼン術
11. 論文を「読む」「書く」「探す」
12. 図書館の貴重書庫に眠る、へんな本(脚気)

中央図書館常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、29年度は右の展示を行いました。

●シリーズ展示「標本にみる九州大学の研究」

【第8回】「糸島の哺乳類」 (平成29年4月17日~7月9日)

【第9回】「九州大学の骨格標本」 (平成29年7月10日~11月8日)

【第10回】「九州大学玉泉館資料」 (平成29年11月9日~平成30年3月31日)

展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

IIIF (International Image Interoperability Framework) ワークショップin九州

【日 時】平成29年10月20日(金) 13:50~17:05
 【会 場】九州大学(箱崎)中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
 【共 催】九州大学附属図書館
 【協 賛】九州大学つばさプロジェクト「デジタル人文学における研究資源オープン化と研究プラットフォーム構築に向けた基盤的研究」
 【後 援】デジタルアーカイブ学会
 【参加者】27名

画像データやそれに対する注釈情報等の形式を統一することによって画像へのアクセスを標準化し、相互運用性を高めるための国際的なコ

ミュニティ活動であるIIIF(International Image Interoperability Framework)に関するワークショップを開催しました。

- 【プログラム】.....
- 講演 「IIIFの概要」
Sheila Rabun氏(IIIF)、Tom Cramer氏(Stanford University)
 - 講演 「IIIFの機能」
Jack Reed 氏、Stuart Snyder氏(Stanford University)
 - 講演 「IIIFと日本研究資料のデジタル化」
Reagan Murphy Kao氏(Stanford University)
 - 実習 「IIIFの実習」
永崎研宣氏(人文情報学研究所)

情報管理専門職をめぐる民間企業と大学・学界

【日 時】平成29年11月17日(金) 14:00~17:20
 【会 場】九州大学(箱崎)中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主 催】日本アーカイブズ学会、九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
 【共 催】九州大学附属図書館
 【参加者】39名

アーキビスト等情報管理専門職に関する教育研究や人材育成のあり方について具体的に議論し、今後のキャリアパスの方向性や教育・研究における連携協力の可能性を探るためのシンポジウムを開催しました。

- 【プログラム】.....
- 報告 「『企画』『開発』『運用』が三位一体となったプロジェクトマネジメント支援ー記録情報管理の視点からー」
三谷直也氏(株式会社 日立ドキュメントソリューションズ)
 - 報告 「企業の記録と資料を守るために ー一番を待つアーカイブズ専門家ー」
高津隆氏(帝国データバンク史料館)
 - 報告 「21世紀の情報管理専門職の養成について」
岡崎敦氏(九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻)
 - パネルディスカッション
司会:清原和之氏 バネリスト:三谷直也氏、高津隆氏、岡崎敦氏

Computational Archival Science (CAS) 講演会

【共 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻、九州大学数理・データサイエンス教育研究センター、九州大学附属図書館、九州大学大学院人文科学研究院

行政機関や企業等が業務上作成する文書や記録を管理し提供するための実学であるArchiveと、情報科学を融合させた分野である「Computational Archival Science (CAS)」に関する講演会を開催しました。

【講 師】Richard Marciano氏(University of Maryland)、Maria Esteva氏(University of Texas)

- 講演1 Computational Archival Science (CAS) ~ その方法、資源、学際的アプローチ ~
【日 時】平成30年1月15日(月) 14:00~16:10
【会 場】九州大学伊都図書館 3階大会議室
【参加者】27名
- 講演2 Computational Archival Science (CAS) ~ 研究から実践まで ~
【日 時】平成30年1月16日(火) 14:00~17:00
【会 場】九州大学(箱崎)中央図書館 4階視聴覚ホール
【参加者】32名

これからの学術情報システム

【日 時】平成29年10月13日(金) 13:00~16:40
 【会 場】九州大学(箱崎)中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主 催】大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
 【共 催】九州大学附属図書館
 【参加者】59名

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議に設置された「これからの学術情報システム構築検討委員会」での最新の検討状況に関する報告と意見交換のためのイベントを開催しました。

- 【プログラム】.....
- 講演 「これからの学術情報システム構築検討委員会による検討概要」
米澤誠氏(これからの学術情報システム構築検討委員会)
 - 講演 「電子情報資源のデータの管理・共有について」
北山信一氏(電子リソースデータ共有作業部会)
 - 講演 「NACSIS-CAT/ILLの再構築(軽量化・合理化)について」
山本豪氏(NACSIS-CAT検討作業部会)

留学生への学習・教育支援の強化

附属図書館では国際化をキーワードに学習・教育支援に関する様々な取組を強化しています。

例えば、人的支援の拡充として、図書館TA(Cuter)には、英語力に秀でていたり、留学経験があったりなどの国際志向の強い日本人学生に加えて、外国人留学生も複数名採用しています。このCuterによる学習支援の柱の一つである学習相談デスクでは毎年300件以上の質問に対応していますが、そのうち、外国人留学生への支援が質問件数の20%程度を占めています。

また、毎年4月初めと9月末に、新入留学生を対象に図書館ツアーを開催しています。平成29年度は、延べ59名もの職員およびCuterがツ

アーコンダクターを務めており、500名以上の参加がありました。ツアーでは、図書館サービスに限らず、本学のサービスを受けるのに必須である九州大学全学共通IDの有効化の方法なども案内しており、留学生が学生生活を円滑にスタートするために欠かせない機会となっています。なおかつ、このツアーの他、文献検索や文献管理をテーマとした、外国人留学生支援のための英語による講習会も同年度は22回開催しており、383名の参加がありました。

さらには、コンテンツ整備という観点から、同年度に、留学生が多く居住する学生寮でアンケート調査を行うなど、適切な選書の在り方を探る一助として、留学生ニーズの把握に努めています。

資料交換

九州大学 → ソウル大学校

教員寄贈図書2冊、九州大学出版会図書25冊を寄贈

九州大学 → 慶北大学校

九州大学発行の紀要16冊を寄贈

ソウル大学 → 九州大学

ソウル大学校出版会図書29冊を受贈

海外往来

一往訪一

【訪問者】林 豊(リポジトリ係長)

【日 程】平成29年6月25日～7月2日

【訪問先】クイーンズランド工科大学他(オーストラリア)

【目 的】Open Repositories2017への参加

【訪問者】大田 海(eリソースサポート係員)

【日 程】平成29年7月30日～8月5日

【訪問先】国立台湾大学、国立台湾科技大学、国立清華大学、国立成功大学(台湾)

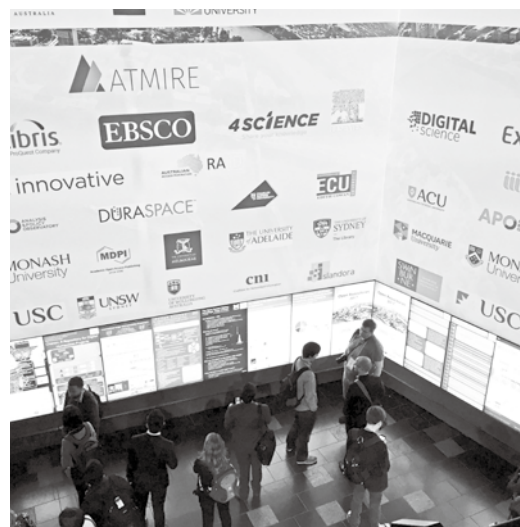
【目 的】「台湾の大学図書館における国際化に即した情報リテラシー教育」をテーマとして、グローバル人材の育成と留学生支援の双方向から、図書館ツアー及び図書館による講習会(eラーニング含む)の実施状況について聞き取り調査を行う

【訪問者】石田 栄美(研究開発室准教授)、渡邊 由紀子(教育主幹・准教授)

【日 程】平成29年11月12日～11月16日

【訪問先】バンコク(タイ)

【目 的】The 8th A-LIEP & the 19th ICADL Conferenceへの参加



Open Repositories2017ポスターセッション



成功大学でのインタビュー

講習会/Cute.Guides Library Workshops / Cute.Guides

◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。

29年度は、図書館システムのリニューアル、文献管理ツールRefworks

の提供終了などのスケジュールに合わせて、日本語および英語による、ターゲットを明確にした講習会を計画・実施しました。また、図書館TA(Cuter)が講師を務める講習会としては、レポート講座に加えて、経験や技能を活かした、英語論文の読み方やデジタルアート制作の講習会も開催しました。

〈注目の講習会〉

●文献の探し方講座

例年4月に実施する日本語文献と英語論文の集め方の2部構成の講習会は、新入大学院生を対象としており、研究生のスタートに弾みをつける有益な機会となっています。12月には、上記のコンテンツに加え、「新しくなったディスカバリサービス」のコマを設け、リニューアルした蔵書検索ツールとグローバルディスカバリの効率的・効果的な使い方について、実習を交えて講義しました。

●レポートの書き方講座／プレゼン講座／実験レポート講座

基幹教育の授業支援として図書館TA(Cuter)と協働で開催している講習会です。29年度後期には、これまで教員や学生から要望の多かった実験レポート講座を新しく企画し、図書館TA(Cuter)が設計および講師を務めました。

●英語論文を一緒に読んでみよう会

医学系学府博士課程3年の図書館TA(Cuter)が講師となり、英語論文を読むことに苦手意識を持っている初心者を中心に、読み方のコツを教えるワークショップを実施しました。

●デジタルアート講習会

バーチャルリアリティを専門とする図書館TA(Cuter)が講師となり、無料かつ視覚的にわかりやすいProcessingというプログラミング環境を用いて、簡単なデジタルアートを制作する講習会を開催しました。

◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。25年3月の正式公開以来、図書館職員、図書館TA(Cuter)、教員が、様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。30年1月には、プラットフォームをリニューアルし、目的別に役立つガイドが見つかりやすくなりました。

図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 149点(30年3月31日現在)

ガイドへのアクセス数 607,993ページビュー(29年度)

Cute Guides
院生・教員とつくる学習ガイド

平成29(2017)年度実績

●種別別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
箱崎	34	467	17	309	51	776
伊都	83	869	12	420	95	1,289
病院	42	370	10	280	52	650
大橋	8	37	0	0	8	37
筑紫	6	30	1	8	7	38
合計	173	1,773	40	1,017	213	2,790

●受講者別

会場	受講者数					
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	計
箱崎	69	473	179	55	0	776
伊都	81	230	953	25	0	1,289
病院	149	207	273	18	3	650
芸工	13	12	6	6	0	37
筑紫	11	26	0	1	0	38
合計	323	948	1,411	105	3	2,790

●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	191	2,407
英語	22	383

●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	150	2,027
Cuter	37	382
図書館職員・Cuter協働	5	74
外部講師	21	307

<29年度に公開した主なガイド>

●シリーズ「私の卒論ができるまで」

大学院生である図書館TA(Cuter)が、学部時代にどのように卒業論文に取り組んだかを詳しく語るシリーズガイドです。Cuterによるガイドに、初めて共通テーマを設け、29年度は7点のガイドを公開しました。

●バイオ研究室ってどんなところ?

研究室にはどんな人がいて、どんなものがある、何をしているのか、バイオ研究室を例に紹介したガイドです。研究室選びや研究室生活を始める際に役立つ内容となっています。

●九大学生のためのボランティア活動に関する情報支援

社会活動に参加したい、色々な友達に出会いたい、自分の視野を広げたい、と考えている九大学生に向けて、留学生である図書館TA(Cuter)が、国際ボランティアを含む様々なボランティア活動を経験談も交えて紹介しています。

新規コレクション

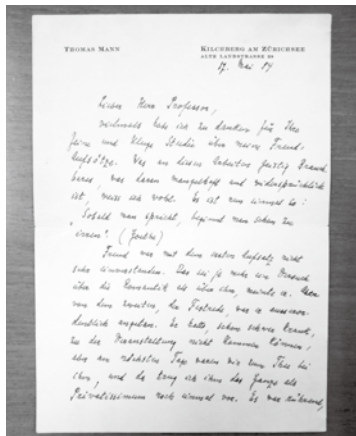
◆寄贈コレクション

●トーマス・マン書簡関連資料

この度、トーマス・マンによる手書きの書簡を含む計10点の資料が中央図書館に寄贈されました。

1929年にノーベル文学賞を受賞したドイツの作家パウル・トーマス・マン(Paul Thomas Mann, 1875-1955)は1901年に処女小説『ブッデンブローク家の人々』を発表し、戦前のヨーロッパにおいてベストセラーとなりました。以降に執筆された『ヴェニスに死す』や、『魔の山』を始めとする作品たちも、日本で三島由紀夫や北杜夫など著名な作家に影響を与えています。

寄贈いただいた資料には、マンから高橋義孝元教授(人文科学研究院)に宛てられた、フロイトやユングについて記述された書簡や、高橋義孝元教授によるマンの訃報にあたっての手書き原稿が含まれており、これらを貴重資料として受け入れました。



トーマス・マンから高橋義孝元教授へ送られた書簡

●周作人の書の掛軸および書簡

魯迅の弟である周作人(1885-1967)が濱一衛名誉教授へ生前に贈った書の掛軸4点と、周豊一(周作人の孫)から濱夫妻へ宛てられた書簡4通を藤本康子氏(濱教授のご息女)よりご寄贈いただきました。

周作人の作品は随想、漢詩、翻訳と多岐に渡り、兄と同じく日本へ留学し、ギリシャ古典と英文学を学んだ後に生み出された周作人の著作には中国、日本、ヨーロッパと、古今東西の典籍によって培われた感性が滲み出ています。

今回ご寄贈いただいた掛軸及び書簡は、濱一衛蒐集の中国戯曲関係の和漢書939点(約2,500冊)です。戯曲関係のパンフレット、切り抜き、レコード、写真等も含む特色あるコレクションである濱文庫に追加しました。



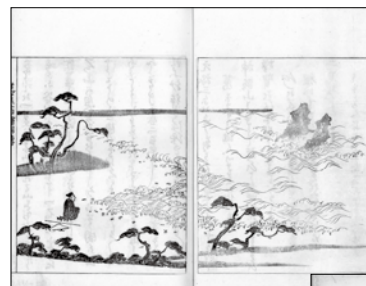
周作人の書「苦茶庵打油詩」其三

新規デジタル化コンテンツ

29年4月、中野三敏名誉教授の蒐集した江戸期和装本を中心とするコレクション『雅俗文庫』から、多色摺絵俳書の23点(25冊、画像数336コマ)をデジタル化し、九大コレクションより公開しました。デジタル化作業は、九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)特別枠(つばさプロジェクト)「デジタル人文学における研究資源オープン化と研究プラットフォーム構築に向けた基盤的研究」(研究代表者:石田栄美(附属図書館研究開発室准教授))によって行われました。

『雅俗文庫』から多色摺絵俳書の23点をデジタル化しました

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/news/8824>



平成29年度研究開発室研究開発事項

● 総括

研究開発の総括	宮本 一夫 (附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	--------------------	---

● I 学習・教育活動との連携に関する分野

学習・教育支援に関する調査研究	富浦 洋一 (副館長) 石田 栄美 (研究開発室) 山田 政寛 (基幹教育院)	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広 (付設教材開発センター) 吉田 素文 (特別研究員) 金子 晃介 (サイバーセキュリティセンター) (協力教員)	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

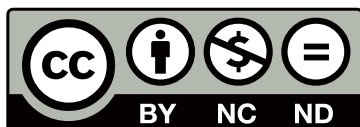
● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

コンテンツの形成および保存に関する調査研究	川平 敏文 (人文科学研究院) 和仁 かや (法学研究院) 中里見 敬 (言語文化研究院) 永島 広紀 (韓国研究センター) 三輪 宗弘 (付設記録資料館) 梶嶋 政司 (付設記録資料館) 古賀 康士 (付設記録資料館) Wolfgang Michel (特別研究員)	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
学術情報の流通および発信に関する調査研究	富浦 洋一 (副館長) 畑埜 晃平 (研究開発室) 廣川佐千男 (情報基盤研究開発センター) 伊東 栄典 (情報基盤研究開発センター) 池田 大輔 (システム情報科学研究院)	九州大学が蓄積する学術情報資源をより効果的に発信するために、発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行う。

● III 図書館運営に関する分野

情報専門職の育成に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 岡崎 敦 (人文科学研究院)	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
新たなサービスの創出に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 畑埜 晃平 (研究開発室)	図書館利用状況の分析や国内外図書館の視察等にもとづき、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

九州大学におけるオープンサイエンス推進のため、『九州大学附属図書館研究開発室年報』では、vol.2016/2017より投稿規定を改定し、掲載著作物には原則としてクリエイティブ・コモンズ・ライセンスのCC BY-NC-NDを適用することにしました。



● 『九州大学附属図書館研究開発室年報』とは

九州大学附属図書館研究開発室の年間の活動状況報告と、本学附属図書館研究開発室員及び本学図書館職員の研究活動成果としての論文、報告記事等を掲載しています。

『九州大学附属図書館研究開発室年報』

https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/publications_kyushu/anulibrd



九州大学附属図書館研究開発室年報

フォーマット: 雑誌

出版情報: 九州大学附属図書館研究開発室

本文言語: 日本語

識別子 (冊子): ISSN:1881-3542

識別子 (オンライン): ISSN:2432-8014

『九州大学附属図書館研究開発室年報』は、本学附属図書館研究開発室の年間の活動状況を報告することを主たる目的とし、併せて、本学附属図書館研究開発室員及び本学図書館職員の研究活動成果としての論文、報告記事等を掲載しております。2005年に『附属図書館研究開発室の概要』から現在のタイトルに変更されました。

障害者支援に関する研修会

28年4月より障害者差別解消法が施行されたことに伴い、本学では障害を理由とする差別の禁止及び合理的配慮の提供が義務化されています。あわせて、本学の規程において、障害者差別解消監督責任者である部局長は、当該部局に所属する職員に対して、障害を理由とする差別の解消に関する認識を深めさせること、合理的配慮の提供を適切に行うよう指導すること等が求められています。

以上のことから、附属図書館では、障害を理由とする差別の解消に関する図書館職員の認識を深め、図書館の学習支援における合理的配慮の適切な提供に関する知識を向上させるため、障害者支援に関する研修会を実施しました。

【開催日】平成30年3月2日(金)

【参加者】25名

【講師】斎藤未夏(利用支援課長)

金子美弥(利用支援課資料サービス係員)

【内容】

- ① 障害者支援に関する本学全体の方針・体制・動向を講義
- ② 外部機関主催の障害者支援担当図書館職員研修に参加して学んだ内容のうち重要なポイントを解説

【備考】九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)の活動の一環として実施



平成29年度初任者研修

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。これらの講義は、初任者以外の職員も聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

【開催日】平成29年4月26日(水)

【プログラム】

附属図書館の概要と図書館業務の流れ

統合移転と新図書館計画

図書館Webサイトと業務システム

ネットワークとセキュリティ



統計 = 利用サービス = Statistics

平成29(2017)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	合 計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		238	239	239	239	240	172	227	1,594
	土曜 Saturday		48	47	31	48	52	0	41	267
	日曜・祝日 Others		61	65	6	0	59	0	0	191
	合 計 Total		347	351	276	287	351	172	268	2,052
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		12,776	8,283	2,746	8,593	14,436	86	2,720	49,640
	学 生 Students		255,035	98,364	28,320	34,375	330,426	96,645	14,406	857,571
	学外者 Others		20,206	3,781	947	5,797	8,555	0	247	39,533
	合 計 Total		288,017	110,428	32,013	48,765	353,417	96,731	17,373	946,744
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		9,533	4,165	2,352	1,897	13,839	113	9,309	41,208
	学 生 Students		49,645	12,231	12,876	5,844	78,816	1,553	35,558	196,523
	学外者 Others		1,077	162	338	215	696	0	0	2,488
	合 計 Total		60,255	16,558	15,566	7,956	93,351	1,666	44,867	240,219
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		6,266	2,632	1,206	1,401	8,213	86	4,154	23,958
	学 生 Students		32,258	8,928	6,180	4,325	48,644	1,169	18,244	119,748
	学外者 Others		719	120	176	137	445	0	0	1,597
	合 計 Total		39,243	11,680	7,562	5,863	57,302	1,255	22,398	145,303
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		201	10,205	330	55	1,012	-	-	11,803
	学外からの受付(国外) Requests(International)		0	0	8	0	0	-	-	8
	小計 Subtotal		201	10,205	338	55	1,012	-	-	11,811
	学内からの受付 Request within KU (内 E-DDS件数) (E-DDS of above)		1,082	745	234	76	476	-	-	2,613
	合 計 Total		1,283	10,950	572	131	1,488	-	-	14,424
	(うち謝絶) (cancel)		100	1,851	58	15	178	-	-	2,202
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		2,077	1,744	204	264	1,193	-	-	5,482
	学外への依頼(国外) Received(International)		6	1	2	0	0	-	-	9
	合 計 Total		2,083	1,745	206	264	1,193	-	-	5,491
	(うち謝絶) (cancel)		461	64	2	12	129	-	-	668
	NDL閲覧 Browse(NDL)		125	-	-	0	35	-	-	160
	NDL複写 Copies(NDL)		248	-	-	4	65	-	-	317
合 計 Total		373	-	-	4	100	-	-	477	
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		177	25	139	25	542	-	-	908
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		0	0	0	0	0	-	-	0
	合 計 Total		177	25	139	25	542	-	-	908
	(うち謝絶) (cancel)		25	7	31	1	131	-	-	195
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		842	32	112	33	309	-	-	1,328
	学外への依頼(国外) Loans(International)		14	0	1	0	0	-	-	15
合 計 Total		856	32	113	33	309	-	-	1,343	
(うち謝絶) (cancel)		220	4	31	3	44	-	-	302	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		123	228	65	447	396	0	157	1,416
	学 生 Students		1,212	783	331	84	2,764	733	2,358	8,265
	学外者 Others		175	212	52	38	209	0	629	1,315
	合 計 Total		1,510	1,223	448	569	3,369	733	3,144	10,996
	所在調査 Holdings		272	82	86	37	950	39	2,515	3,981
	事項調査 Topics		31	46	58	503	63	2	157	860
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,207	1,095	304	29	2,356	692	472	6,155
合 計 Total		1,510	1,223	448	569	3,369	733	3,144	10,996	

※新中央図書館の件数は中央図書館に含まれる
 ※文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む
 ※NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

電子ジャーナルの利用(主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2017.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	250,282	JSTOR Arts & Sciences I, II	17,506
American Institute of Physics (AIP)	46,646	Nature Site License	193,216
American Physical Society (APS)	34,745	ProQuest Central	41,317
CiNii*	63,008	Science online	45,168
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	1,194,760	SpringerLink	187,726
IEEE POP	12,420	Wiley Online Library	352,427
		合計 Total	2,439,221

*国内誌

情報検索サービスの利用

Databases

2017.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	3,147,706	-
文献情報 Abstracts & index databases	SciFinder	化学	247,814	48,084
	Web of Science	全分野	221,400	108,946
	Scopus	全分野	211,443	75,817
	CiNii	全分野(国内)	205,194	62,310
	医中誌Web	医学(国内)	156,835	59,838
	Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	14,932	8,870
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	14,476	7,196
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	11,811	4,522
	PsycINFO (Ovid)	心理学	2,482	649
	MEDLINE (Ovid)	医学	2,156	556
EBM Reviews (Ovid)	医学	1,785	1,149	
ERIC (Ovid)	教育学	114	74	
事典類 References	JapanKnowledge	(国内)	138,687	14,462
	Gale Virtual Reference Library		437	231
	理科年表プレミアム	(国内)	-	336
	化学書資料館	(国内)	-	15,786
新聞 Newspaper articles	研究社オンライン・ディクショナリー		-	540
	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	42,614	6,712
	西日本新聞記事データベース「パピルス」	西日本新聞記事	8,690	-
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	4,506	1,275
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	5,636	-
その他 Others	Journal Citation Reports [JCR]	インパクトファクター	35,827	10,269
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	459,930	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	59,612	-
	マイページ	図書館ポータル	-	264,392

学内配送サービスの利用(図書の出貸・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成29(2017)年度

から from	へ to	中央図書館[箱崎] Central Lib.	新中央図書館[伊都] New Central Lib.	文系合同図書室 Human & Soc.Sci.Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	Q-Commons	計 Total
中央図書館[箱崎] Central Lib.			1,846	2,810	1,002	1,931	660	6,792	173	15,214
新中央図書館[伊都] New Central Lib.		2,102		1,587	125	211	43	996	32	5,096
文系合同図書室 Human & Soc.Sci.Lib.		5,472	1,847		258	996	167	3,132	56	11,928
医学図書館 Medical Lib.		1,117	130	237		408	341	1,306	13	3,552
芸術工学図書館 Design Lib.		2,162	205	903	372		294	1,674	45	5,655
筑紫図書館 Chikushi Lib.		713	50	153	347	291		1,325	20	2,899
伊都図書館 Ito Lib.		6,065	1,059	2,392	1,161	1,617	1,202		281	13,777
Q-Commons		267	113	117	28	60	25	2,205		2,815
計 Total		17,898	5,250	8,199	3,293	5,514	2,732	17,430	620	60,936

統計 = 基盤サービス = Statistics

■ 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials 平成29(2017)年度

		図書受入冊数 <small>Current acquisitions of books</small>			雑誌受入種類数(冊子体) <small>Current serials title</small>		
		和漢書 <small>CJK</small>	洋書 <small>Western</small>	計 <small>Total</small>	和雑誌 <small>CJK</small>	洋雑誌 <small>Western</small>	計 <small>Total</small>
中央図書館	中央図書館 <small>Central Library</small>	20,688	4,295	24,983	641	596	1,237
	農学研究院 <small>Faculty of Agriculture</small>	2,762	509	3,271	476	380	856
	小計 <small>Central Library Total</small>	23,450	4,804	28,254	1,117	976	2,093
医学図書館	医学図書館 <small>Medical Library</small>	976	825	1,801	498	153	651
	医学研究院 <small>Faculty of Medical Sciences</small>	115	52	167	42	14	56
	歯学研究院 <small>Faculty of Dental Science</small>	12	0	12	10	11	21
	薬学研究院 <small>Faculty of Pharmaceutical Sciences</small>	0	3	3	4	0	4
	生体防御医学研究所 <small>Medical Institute of Bioregulation</small>	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) <small>University Hospital</small>	41	53	94	67	55	122
小計 <small>Medical Library Total</small>	1,144	933	2,077	621	233	854	
芸術工学図書館 <small>Design Library</small>		1,506	228	1,734	445	74	519
筑紫図書館	筑紫図書館 <small>Chikushi Library</small>	589	327	916	221	19	240
	総合理工学研究院 <small>Faculty of Engineering Sciences</small>	0	3	3	12	0	12
	応用力学研究所 <small>Research Institute for Applied Mechanics</small>	0	0	0	13	4	17
	先端物質化学研究所 <small>Institute for Materials Chemistry and Engineering</small>	0	0	0	1	0	1
	小計 <small>Chikushi Library Total</small>	589	330	919	247	23	270
伊都図書館	伊都図書館 <small>Ito Library</small>	7,015	2,349	9,364	513	34	547
	比較社会文化研究院 <small>Faculty of Social and Cultural Studies</small>	853	376	1,229	133	35	168
	言語文化研究院 <small>Faculty of Languages and Cultures</small>	717	199	916	13	39	52
	数理学研究院 <small>Faculty of Mathematics</small>	161	2,423	2,584	31	313	344
	理学研究院 <small>Faculty of Science</small>	275	1,356	1,631	72	58	130
	工学研究院 <small>Faculty of Engineering</small>	94	164	258	151	161	312
	システム情報科学研究所 <small>Faculty of Information Science and Electrical Engineering</small>	73	46	119	40	25	65
	基幹教育院 <small>Faculty of Arts and Science</small>	139	58	197	12	3	15
	小計 <small>Ito Library Total</small>	9,327	6,971	16,298	965	668	1,633
文系合同図書館	文学部 <small>School of Letters</small>	5,627	2,232	7,859	1,908	224	2,132
	教育学部 <small>School of Education</small>	348	209	557	565	63	628
	法学研究院 <small>Faculty of Law</small>	3,640	1,455	5,095	647	273	920
	経済学研究院 <small>Faculty of Economics</small>	1,255	3,039	4,294	544	211	755
	人環 都市・建築学部門 <small>Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design</small>	214	119	333	29	18	47
	小計 <small>Humanities and Socialsciences Library Total</small>	11,084	7,054	18,138	3,693	789	4,482
別府病院 <small>Beppu Hospital</small>	0	0	0	13	0	13	
記録資料館 <small>Manuscript Library</small>	874	89	963	66	0	66	
合計 <small>Total</small>		47,974	20,409	68,383	7,167	2,763	9,930

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。
 (注2) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所、情報基盤研究開発センターは、伊都図書館の項目に計上している。
 (注3) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費 Expenditures for library materials

平成29(2017)年度
(単位:千円/thousand yen)

		図書費 Books		雑誌・新聞費 Serials		eリソース Electronic resources		その他 Others		資料費総額 Total	
中央図書館	Central Library	27,932		43,517		621,948		5,261		698,657	
医学図書館	Medical Library	15,904		14,132		16,068		659		46,764	
芸術工学図書館	Design Library	9,789		6,154		172		1,446		17,561	
筑紫図書館	Chikushi Library	8,674		2,803		69		27		11,573	
伊都図書館	Ito Library	96,394		60,796		12,699		3,347		173,236	
文系合同図書室	Human. & Soc. Sci. Lib.	93,876		47,658		32,467		4,942		178,943	
別府病院	Beppu Hospital	0		59		172		0		231	
記録資料館	Manuscript Library	1,745		97		0		57		1,899	
合計	Total	254,313		175,215		683,596		15,739		1,128,864	

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む

(注4) 情報基盤研究開発センターは伊都図書館に計上

電子ブック・電子ジャーナル E-Books and E-Journals

平成30(2018)年5月1日現在

アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む)
Accessible e-books (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 238,349

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)
Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 108,078

契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成30(2018)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	54	KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌	1,335
American Institute of Physics (AIP)	12	LexisNexis: Academic & lexis.com	10,425
American Physical Society (APS)	14	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	26
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	26	Medical Online Library (MOL) *	1,495
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,152	Nature Publishing Group	33
Cambridge University Press	45	OECD iLibrary	199
Cell Press	11	Oxford University Press	37
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	ProQuest Central	19,512
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)	4,048	Science (AAAS)	3
DBpia: 人文社会系パッケージ	1,276	SpringerLink	1,610
EBSCOhost: Business Source Complete	16,137	Taylor & Francis	95
EBSCOhost: EconLit with Full Text	719	UniBio Press *	6
Elsevier ScienceDirect	2,329	University of Chicago Press	5
IEEE: ASPP Online, POP Online	310	Wiley Online Library	1,468
IEICE *	8	World Scientific Publishing	9
Institute of Physics (IOP)	11	日本物理学会(JPS) *	1
Journals@Ovid	6	その他	445
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	384		
		合計 Total	63,248

* 国内誌

蔵書数 Holdings

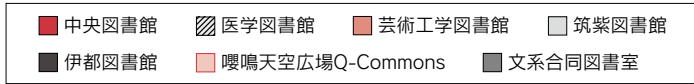
平成30(2018)年3月31日現在

		図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	Central Library	527,075	214,338	741,413	20,585	8,569	29,154
医学図書館	Medical Library	140,330	188,940	329,270	2,926	7,228	10,154
芸術工学図書館	Design Library	135,726	52,468	188,194	2,087	990	3,077
筑紫図書館	Chikushi Library	69,468	79,605	149,073	1,515	1,194	2,709
伊都図書館	Ito Library	573,364	612,663	1,186,027	10,531	14,027	24,558
文系合同図書室	Human. & Soc. Sci. Lib.	888,236	648,125	1,536,361	8,653	4,327	12,980
別府病院	Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	Manuscript Library	45,539	3,767	49,306	76	1	77
合計	Total	2,386,431	1,813,397	4,199,828	46,665	36,683	83,348

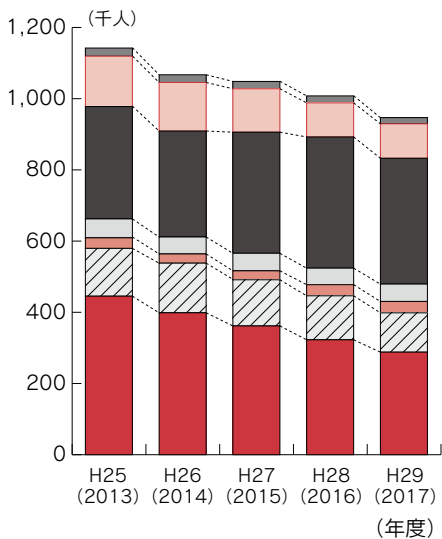
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

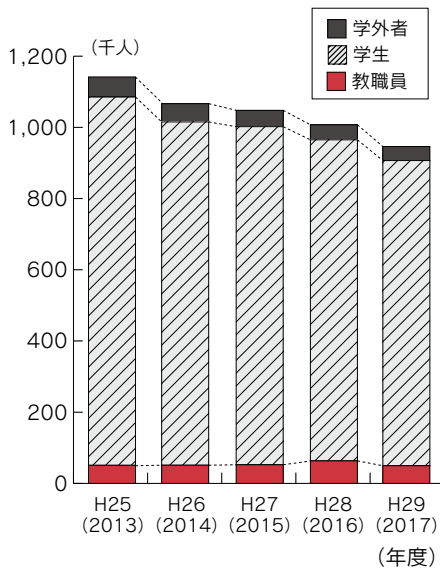
■ 利用サービスの推移



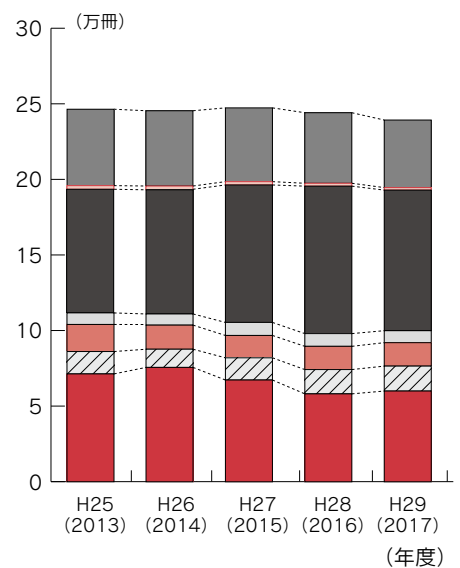
入館者数



身分別入館者数



貸出冊数

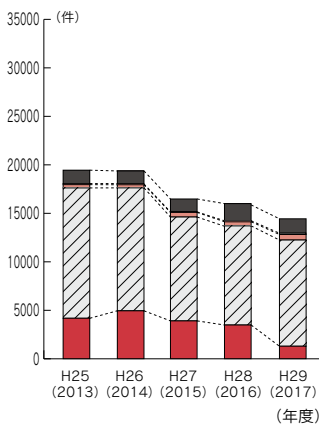


入館者数については、全体で約6%の減少、特に中央図書館・医学図書館・文系合同図書室が約10%の減少となりました。箱崎地区の減少は、法務学府の六本松地区移転や、資料移転が進んだことによるところが大きいと思われる。

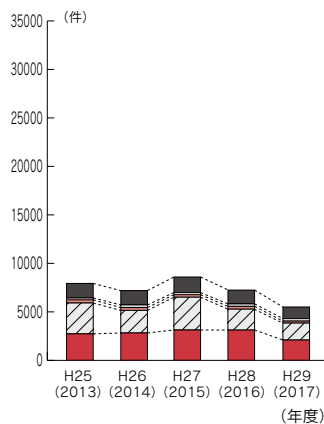
身分別にみると、特に教職員の入館者が前年比約22%減となっており、中でも中央図書館は半減しました。

貸出冊数については、おおむね横ばいとなっています。29年度は新中央図書館へ約64万冊の資料移転を行いました。利用できない期間を極力短くすることで移転の影響を最小限に抑えることができました。

文献複写件数【受付】



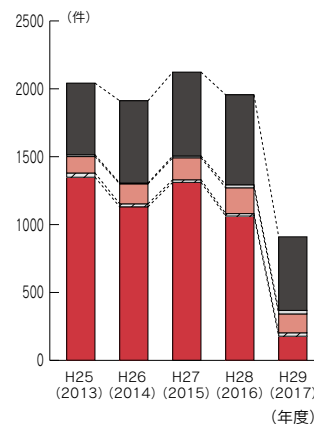
文献複写件数【依頼】



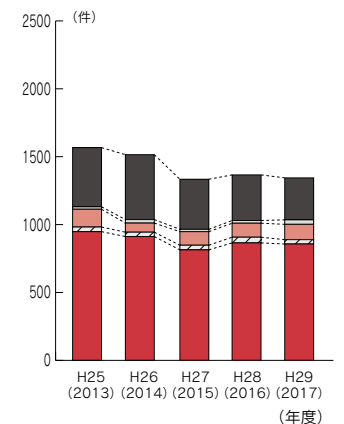
受付（学外機関/学内利用者・個人への文献コピーの提供）は、全体としては前年度に比べ減少しています。これは、キャンパス移転に伴う資料の移動作業のため、中央図書館が所蔵する資料の学外機関への提供を休止したことによるものです。

また、依頼（学外機関からの文献コピーの取寄せ）についても減少となりました。原因については詳細な分析が必要ですが、一つには研究室の移転等の影響が考えられます。各館別では、芸工図書館が微増となりました。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



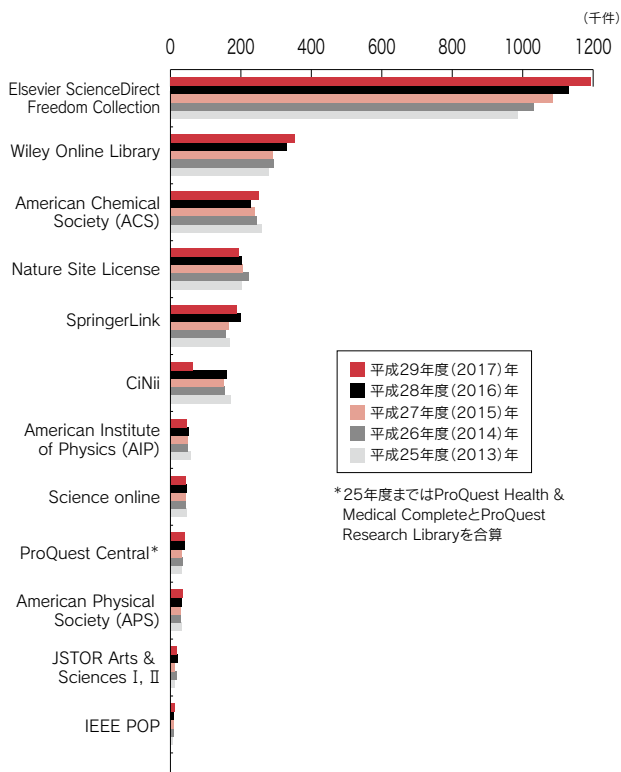
受付（学外機関への図書の貸出）は、中央図書館が所蔵する資料の学外機関への提供を、文献コピーの提供と同様に休止したため、全体としては減少となりました。各館別では、医学図書館、筑紫図書館で増加傾向が見られます。

依頼（学外機関からの図書の借受）は、前年度とほぼ変わりませんが、各館別にみると、芸工図書館と筑紫図書館が微増しています。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

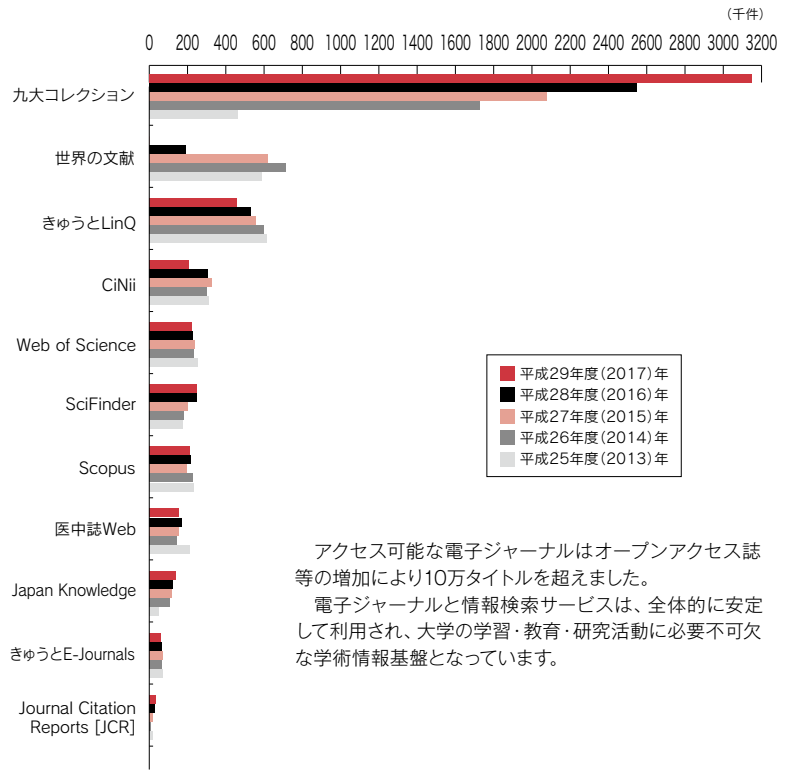
電子ジャーナルの利用

主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用

主要データベースの検索回数

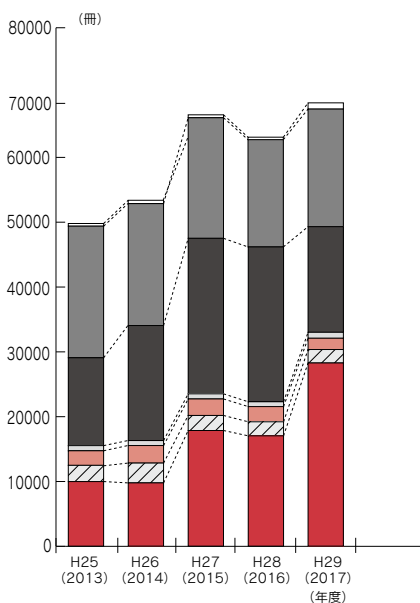


アクセス可能な電子ジャーナルはオープンアクセス誌等の増加により10万タイトルを超えました。

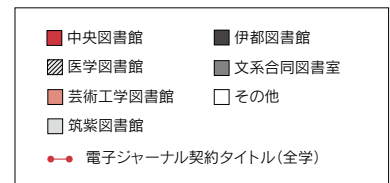
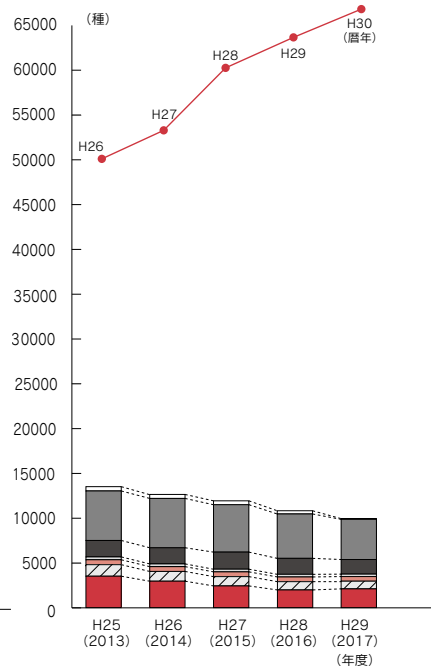
電子ジャーナルと情報検索サービスは、全体的に安定して利用され、大学の学習・教育・研究活動に必要な学術情報基盤となっています。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

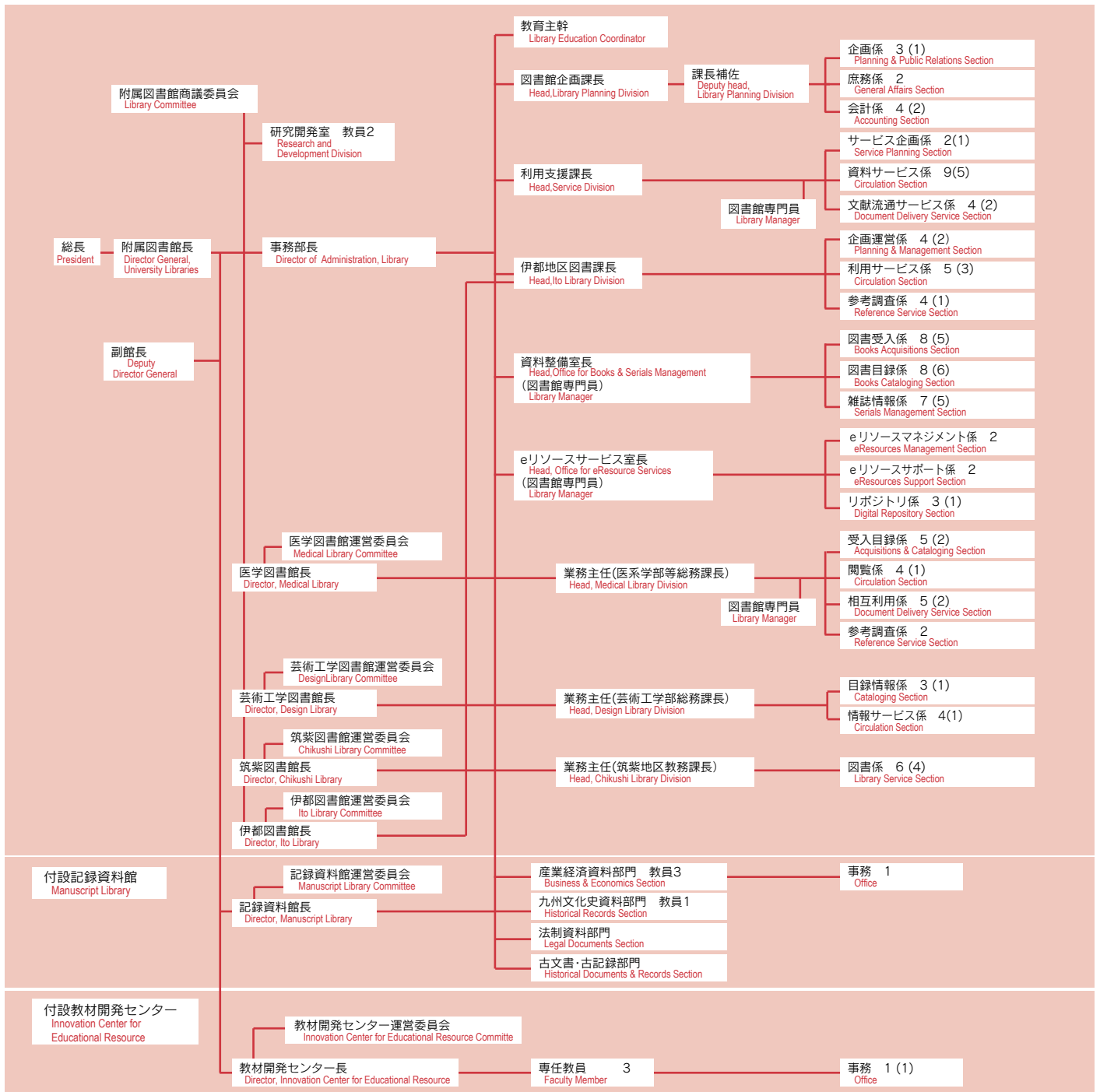


図書については、30年度の中央図書館及び農学部移転に備えて雑誌の製本受入が増加したことに伴い、中央図書館の受入冊数が伸びています。一方で、理学部移転が完了したこともあり、伊都図書館の受入冊数は移転期以前の水準に戻っています。

雑誌については、電子ジャーナルのタイトル数が増加するいっぽう、冊子体の受入が全学的に減少し続けています。伊都キャンパス移転する部局では、移転に伴う図書館への資料の集中化を控え、部局間で重複して受け入れていたタイトルの調整が進んでいます。

附属図書館の組織 Organization

(平成30年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計
教員数	2	4	0	4	10

※ 専任教員のみ。

区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	4	1	5	24	96(56)	131

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。()内は事務補佐員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成30年4月1日現在

附属図書館長	宮本 一夫(副学長)	伊都図書館長	富浦 洋一(システム情報科学研究院 教授)
副館長	富浦 洋一(システム情報科学研究院 教授)	記録資料館長	坂上 康俊(人文学研究院 教授)
医学図書館長	柳 雄介(医学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
芸術工学図書館長	脇山 真治(芸術工学研究院 教授)	事務部長	渡邊 俊彦
筑紫図書館長	青木 俊之(総合理工学研究院 教授)		

附属図書館商議委員会

平成30年4月1日現在

■委員長

宮本 一夫(副学長、附属図書館長)

中里見 敬(言語文化研究院 教授)

■委員

富浦 洋一(副館長)

中西 秀(理学研究院 教授)

柳 雄介(医学図書館長)

廣島 文生(数理学研究院 教授)

脇山 真治(芸術工学図書館長)

神野 尚三(医学研究院 教授)

青木 俊之(筑紫図書館長)

柏崎 晴彦(歯学研究院 教授)

富浦 洋一(伊都図書館長)

片山 勉(薬学研究院 教授)

坂上 康俊(記録資料館長)

安倍 賢一(工学研究院 教授)

岡田 義広(教材開発センター長)

富松 潔(芸術工学研究院 教授)

小野 謙二(情報基盤研究開発センター長)

圓福 敬二(システム情報科学研究院 教授)

渡邊公一郎(留学生センター長)

内野喜一郎(総合理工学研究院 教授)

高山 倫明(人文科学研究院 教授)

矢部 光保(農学研究院 教授)

東 英寿(比較社会文化研究院 教授)

福田 千鶴(基幹教育院 教授)

西村 秀樹(人間環境学研究院 教授)

馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)

木村 俊道(法学研究院 教授)

出射 浩(応用力学研究所 教授)

深川 博史(経済学研究院 教授)

佐藤 治(先導物質化学研究所 教授)

小磯 深幸(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)

渡邊 俊彦(附属図書館事務部長)

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館)
福岡県図書館協会 理事・館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会 (全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系大学図書館)

人事異動 Personnel Reshuffle

■中央図書館

4/1	渡邊由紀子	教育主幹	利用支援課長
〃	郷原 正好	(広島大学)	図書館企画課長
〃	瓜生 照久	図書館企画課長	大分大学
〃	斎藤 未夏	利用支援課長	筑波大学
〃	吉松 直美	資料整備室長	資)図書目録係長
〃	大瀧 礼二	(佐賀大学)	e)リソースサービス室長
〃	井ノ上俊哉	e)リソースサービス室長	医)図書館専門員
〃	大村 武史	企)企画係	伊)参考調査係
〃	大賀 郁里	利)サービス企画係事務補佐員	(採用)
〃	岩崎 崇宏	利)文献流通サービス係	(採用)
〃	江藤 弘史	資)図書受入係長	芸)目録情報係長
〃	越戸 陽子	(福岡教育大学)	資)図書受入係
〃	佐方 小弓	資)図書受入係	利)文献流通サービス係
〃	渡邊真由美	資)図書目録係長	有明工業高等専門学校
〃	竹内嘉与子	資)図書目録係	芸)目録情報係
〃	石田美智代	資)図書目録係事務補佐員	(採用)
〃	飯野 美樹	資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
〃	林 豊	e)リポジトリ係長	e)リポジトリ係
4/30	上村 香	(退職)	資)図書目録係事務補佐員
6/30	渡邊 倫子	(退職)	利)文献流通サービス係事務補佐員
7/1	山本さやか	(九州国立博物館)	企)会計係主任
〃	西山由希子	企)会計係主任	財務部経理課経理総括係主任
〃	田代 知子	(熊本大学)	e)リポジトリ係
9/1	松石麻紀子	利)文献流通サービス係事務補佐員	(採用)
10/1	泉 愛	e)リポジトリ係	芸)情報サービス係
11/1	畑埜 晃平	(基幹教育院准教授)	研究開発室准教授
11/30	岡本 好古	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
12/1	和田真理子	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
12/31	小島 凜	(退職)	企)会計係事務補佐員
1/1	田中 圭子	利)資料サービス係有期事務職員	(採用)
〃	後藤 真弓	企)会計係事務補佐員	(採用)
2/15	土肥 純子	(退職)	資)図書目録係事務補佐員
2/28	大賀 郁里	(退職)	利)サービス企画係事務補佐員
3/31	安西 弥生	(退職)	教材開発センター准教授
〃	谷澤 亜里	(退職)	教材開発センター助教
〃	木村 優	(定年退職)	事務部長
〃	藤川 眞一	(定年退職)	図書館企画課長補佐
〃	古賀 幸成	(退職)	企)専門員
〃	芝原佐南恵	(退職)	企)企画係事務補佐員
〃	藤 博明	(退職)	企)企画係事務補佐員
〃	辻 智子	(退職)	利)サービス企画係事務補佐員
〃	宮尾由美子	(育児休業)	利)資料サービス係長
〃	井上 修孝	(退職)	利)資料サービス係有期事務職員
〃	田中のり子	(退職)	利)文献流通サービス係事務補佐員
〃	一木 隆子	(退職)	資)図書受入係事務補佐員
〃	藤原 園江	(退職)	資)図書受入係事務補佐員
〃	河野由起子	(退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ

■医学図書館

4/1	柳 雄介	医学図書館長	
〃	河上 章彦	医)図書館専門員	医)受入目録係長
〃	首東 誠	医)受入目録係長	伊)企画運営係長
〃	児玉 浩憲	医)相互利用係長(兼参考調査係長)	文)資料サービス係長

(平成29年4月1日~30年3月31日)

4/1	稲永 晶子	医)相互利用係	伊)参考調査係
〃	小山田直起	医)参考調査係	(採用)
3/12	室井 万穂	(育児休業)	医)受入目録係
3/31	有田 淳	貝塚地区事務部長	業務主任
〃	山崎 法子	(定年退職)	医)閲覧係長
〃	塩田 麻実	(退職)	閲覧係(有期事務職員)
〃	安武由美子	(定年退職)	相互利用係事務補佐員(有期契約職員)
〃	緒方 美奈	(退職)	受入目録係事務補佐員
〃	下川真悠子	(退職)	受入目録係事務補佐員

■芸術工学図書館

4/1	古川 康祐	芸)業務主任	
〃	有田 順一	芸)目録情報係長	筑)図書係長
〃	岩下 夏帆	芸)目録情報係	医)参考調査係
10/1	秋月 和美	芸)情報サービス係	医)相互利用係

■筑紫図書館

4/1	竹下 浩幸	筑)業務主任(筑紫地区事務部教務課長)	筑紫地区事務部庶務課長
〃	高田 宏昭	筑)図書係長	医)相互利用係長(兼参考調査係長)
〃	松居佐地子	筑)図書係事務補佐員	(採用)
3/31	松永 信博	(退任)	筑紫図書館長
〃	上田はるみ	(定年退職)	筑)図書係員

■伊都図書館

4/1	別府 妙子	伊)企画運営係長	資)図書受入係長
〃	古川 琢磨	伊)企画運営係	(採用)
〃	平野かおる	伊)利用サービス係	(採用)
〃	斎藤友利子	伊)参考調査係	伊)企画運営係
〃	小柳 真弓	伊)参考調査係	企)企画係
3/31	荒木啓二郎	(退任)	伊都図書館長

■記録資料館 産業経済資料部門

4/1	坂上 康俊	付設記録資料館長	
〃	諸岡 静児	産業経済資料部門	貝塚地区事務部総務課

■文系合同図書室

4/1	鳥居 愛	文)資料サービス係長	福岡教育大学
〃	森谷優理子	文)資料サービス係事務補佐員	(採用)
〃	箱田 愛	文)資料管理係事務補佐員	(採用)
〃	藤 みか	文)資料管理係事務補佐員	(採用)
8/31	羽賀 究	(退職)	文)資料管理係事務補佐員
3/31	中島 和	(退職)	文)資料サービス係事務補佐員
〃	藤 みか	(退職)	文)資料管理係事務補佐員

企) 図書館企画課	芸) 芸術工学図書館
利) 利用支援課	筑) 筑紫図書館
資) 資料整備室	文) 文系合同図書室
e) e)リソースサービス室	伊) 伊都図書館
医) 医学図書館	

出版物/

貴重資料の学外展示・掲載・放映

Publications/Rare-Book-Provision to the public

出版物

●附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2016/2017』(2017.6)
『九州大学附属図書館研究開発室年報2016/2017』(2017.8)
『きゅうとNEWSLETTER』Vol.12(2017.4), Vol.13(2017.10)

●付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニュースレター Vol. 12』(2018.3)

●付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.39』(2018.3) 『エネルギー史研究 No.33』(2018.3)

●付設記録資料館九州文化史資料部門発行

『九州文化史研究紀要』61号(2018.3)

●付設教材開発センター発行

『九州大学附属図書館付設教材開発センターだより』
No.26(2017.4), No.27(2017.6), No.28(2017.8), No.29(2017.10), No.30(2017.12), No.31(2018.2)

貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
広開土王碑拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H29.4.1~H30.3.31)	九州国立博物館
続日本紀類聚三代格	中央図書館	特別展「開山1300年記念 聖なる山—六郷満山と仁聞—」(H29.10.20~12.3)	大分県立歴史博物館

貴重書等の出版物への掲載・TV等での放映(一部)

●出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
『「春水」手稿』(浜文庫) 『1939年8月8日演一衛宛電報』(浜文庫) 『「苦茶随筆」(北新書局1935年版)周作人題記』(浜文庫)	中央図書館	『氷心手稿蔵身日本九州大学:『春水』手稿、周作人、演一衛及其他』(『中国現代文学研究叢刊』2017年8期、2017.8)
『蘇州から南嘉業堂までの道順メモ、沈家権筆』(浜文庫) 『1939年8月8日付け、(演)フミより周作人方演一衛宛電報』(浜文庫)	中央図書館	『新公開の劉承幹と周作人の日記に見える演一衛: 兼ねて漢文庫所蔵「春水」手稿本を論ず』(『九州大学研究開発年報』2016/2017、2017.8)
『唐詩遺餘言』(雅俗文庫) 『唐詩遺考』(雅俗文庫) 『閑歌餘録』(雅俗文庫) 『北州異業六帖』(雅俗文庫) 『五山室詩話』(雅俗文庫) 『覆燈先生文集初編』(支子文庫) 『重校唐詩選』(松濤文庫)	中央図書館 文系合同(文)	『久留米大学文学部25周年記念「江戸人、唐詩選に遊ぶ」特別企画御井図書館貴重資料展』(久留米大学文学部、2017.4)
奈良絵本「たけとり物語」(支子文庫)	中央図書館	『「竹取物語」使者「中臣房子」図を読む—物語本文と乖離する「男姿」図の検討』(藝文研究 第103号 別冊、2017.12)
『和漢文様』(支子文庫)	中央図書館	『Chinese Poetry in Hiragana』(『Journal of Asian Humanities at Kyushu University Vol.3、2018.3』)
『風土記(近藤前田)』(支子文庫)	中央図書館	『平成30年度特別展「太宰府への道—古代都市と交通—太宰府史跡発掘50周年記念展」』(九州歴史資料館、2018.4)
『続日本紀(近藤文庫) 類聚三代格(支子文庫)』	中央図書館	『平成29年度特別展展示解説図録「開山1300年記念 聖なる山—六郷満山と仁聞—」』(大分県立歴史博物館、2018.10刊行予定)
『日本山海名物図会(廣瀬文庫)』	中央図書館	『黎明館企画展 1867年/パリ万国博150周年記念「薩摩からパリへのおくりもの」』(鹿児島県歴史資料センター黎明館、2017.9.12~2018.1.8)ほか
『玄旨公御連歌』(細川文庫)	中央図書館	『連歌大観』(株式会社古典ライブラリー、2017.12)
『朝鮮活字標本(春日文庫)』	中央図書館	『口絵・解説』(『文獻探求』56号、2018.3)
『海東諸國紀』	中央図書館	『いま学ブアイヌ民族の歴史』(山川出版社、2018.4)
『蒙古襲来絵詞』	中央図書館	『兵器で平和は守れるの』(『月刊ジュニアエラ』8月号 特集、2017.8)ほか
『今昔物語集』	中央図書館	『特別展図録「道成寺と日高川—道成寺縁起と流域の宗教文化—」』(和歌山県立博物館、2017.10)
五転受仮字大概	中央図書館	『九州大学附属図書館蔵「五転受仮字大概」解説と翻刻(仮)』(『文獻探求』56号、2018.3)
『蒙古襲来絵詞』	中央図書館	『ともに学ぶ人間の歴史 文科省検定教科書中学生社会歴史』(学び舎、2021.4刊行)ほか
『筑前早鑑』 『筑前早鑑: 神社記』 『筑前早鑑: 福岡御領石高記』	中央図書館 文系合同(文)	『学術的視点からみた国際貿易都市博多の総合的研究(領域番号26284097)』(『筑前早鑑』と未永虚用)』(九州大学人文研究院、2018.3)
合口喜作編「川上演劇: 略筋」市村座、1898(檀文庫)	伊都図書館	『市制施行八〇周年記念 熱海温泉誌』(熱海市、2017.7)
『家庭博覧會寫真帖: 長政公参百年祭記念』	伊都図書館	『日本近代博覧會資料集成 第5回 配本 婦人・子ども・電気博覧會』(国書刊行会、2017.11)
『泰西熱病論』	医学図書館	『高野長英顕彰会50周年記念誌 長英の夢と人生』(高野長英顕彰会、2017.7)
『養生訓正徳本』	医学図書館	『鍼灸師会誌 はりきゅっていきましょう!』平成29年夏号(鍼灸師会、2017.7)ほか
『ケンペル「日本誌」: 日本の歴史と紀行』	医学図書館	『肥前さが幕末維新博覧會』(肥前さが幕末維新博覧會推進協議会、2018.3~2019.1)
『本草通串図』	医学図書館	『大塚薬報 演義文化を考える』(大塚ホールディングス株式会社、2018.5)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	『神籬』(西垣林業株式会社、2018.4)
『小川蘭館絵巻』	芸術工芸図書館	『誰も知らない熊野の遺産 筑摩カラー新書』(筑摩書房、2017.8)
『草野文書元弘3年7月20日付 草野円貞到書状』	文系合同(文)	『柳川市史「柳川の歴史1 やなごわの成り立ち」』(柳川市、2018.3)
『九大法文書』	文系合同(法)	『<補遺>福岡藩の地所台帳「券帳」について』(『福岡市総合図書館研究紀要』第18号、2018.3)
『相見春雨自筆調査録』(相見文庫)	文系合同(文)	『島根大学附属図書館デジタルアーカイブから利用承認を受けた利用者に対してネットワーク配信』(『相見春雨調査録』、2017.4)
『床飾錦旗無垢』	文系合同(文)	『第6回 ジュニア「くずし」教室』(九州大学人文科学府、2017.7)
『世界人物図巻』	文系合同(文)	『kiseru export from Japan in the seventeenth and eighteenth centuries』(『国際バイブ・アカデミー会誌』、2018.8)
『仙居絵巻』	文系合同(文)	『近世の都市—近代—を準備した江戸の猫ブーム』(『学習院大学法学会』、2017.9)ほか
『広開土王碑拓本』	文系合同(文)	『明治大学蔵 高句麗広開土王碑拓本(仮題)』(八木書店古書出版部、2018.9刊行予定)
『船頭深話(式亭三馬)』	文系合同(文)	『「きつね」、「たぬき」、「どんぶり」に見る食の地域差』(『食生活研究』、2017.12または2018.2)『食を知る』(文教出版、2018.3月)
『Hugonis Grotii, De iure belli ac pacis libri tres』	文系合同(法)	『International Graduate Program 2019』(九州大学、2018.3)
『The far east』の古写真「鹿児島紡績所」(元山文庫)	記録資料館(九州文化史)	『旧鹿児島紡績所技師館(異人館)』リフレット(鹿児島教育委員会文化財課、2017.4)
『福岡城下町・博多・近隣古図』	記録資料館(九州文化史)	『福岡市政だより 中央区版』(福岡市中央区役所、2017.8および2017.9)
『長崎細見之図 文錦堂板』(松木文庫)	記録資料館(九州文化史)	『原三郎と日本最古の翻訳解別書』(石風社、2017.9)

●TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組
『Amœnitatum exoticarum politico-physico-medicarum fasciculi V, quibus continentur variae relationes, observationes & descriptiones rerum Persicarum & ulterioris Asiae, multâ attentione, in peregrinationibus per universum Orientem, collectæ』(長沼文庫)	中央図書館	『歴史秘話ヒストリア』(NHK大阪放送局、2017.6.2)
『蒙古襲来絵詞』	中央図書館	『関口宏ニッポン風土記』(BS-TBS、2017.8.5)ほか
『都府樓図巻』	中央図書館	『発見! 筑紫の歴史 時空の旅人』#82 大宰府 蔵司』(J:COM福岡、2018.2.2~2.23)
『日本山海名物図会』	中央図書館	『ザ! 鉄腕! DASH!』(日本テレビ、2018.1.28)
『演文庫楽単、唱本』	中央図書館	『ロクいち!福岡 今解き明かされる日中文化交流』(NHK福岡放送局、2018.2.7)
『建礼門院右京大夫集』	中央図書館	『歴史秘話ヒストリア「源義経VS. 平家のプリンスタチ—最終決戦! 瀬ノ浦への道—」』(国内のケーブルテレビ局、2018.6.1放送予定)
『養生訓』(養生訓要)等の貝原益軒著書の資料	中央図書館 文系合同(文)	『偉人たちの健康診断 貝原益軒 養生訓』(NHKBSプレミアム、2018.10.18)
『トーマス・マン1枚の絵葉書』 『トーマス・マン書籍関連資料(講演の原稿、手紙、新聞切り抜き、手書き原稿、研究ノート、葉書)』	中央図書館 文系合同(文)	『NHKテレビ ニュース、NHKテレビ ロクいち!福岡』(NHK福岡放送局、2018.3.2)
『仙居絵巻』	文系合同(文)	『高島礼子・日本の古都—その絶景に歴史あり』(BS-TBS、2017.11.24)ほか
『炭の光(瀬戸内炭礦事務所庶務課)』	伊都図書館	『ファミリーヒストリー—アンジャッシュ・渡部建—』(NHK、2017.10.25)

図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館
H29 (2017) 4	26 図書系職員初任者研修	20 第1回医学図書館運営委員会（書面回議）			12 バリ教育交流協会 26名来訪 20 バリ教育交流協会 24名来訪
5	22 第1回農学研究院図書委員会	19 第88回日本医学図書館協会総会	20 「第6回九州大学芸術工学部大公開！デザインのフシギ体験」図書館開放	13 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩ー昔も今も学術交流の拠点ー」展示 31 第1回筑紫図書館運営委員会	
6	26 第2回農学研究院図書委員会	28 外国雑誌センター館会議（メール会議）			6 米 Gateway Community Collegeなどの教職員・生徒17名来訪 19 第1回伊都図書館運営委員会
7	21 第3回農学研究院図書委員会	18 第2回医学図書館運営委員会	31 第1回芸術工学図書館運営委員会	21 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	18 ロンドン大学大学院生16名来訪
8	2 第1回学生用図書選定委員会中央図書館分科会 5 九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次専門試験 5-6 オープンキャンパス図書館開放「探検！九大図書館」	6 オープンキャンパス図書館開放 21 第3回医学図書館運営委員会（書面回議）	6 オープンキャンパス図書館開放		1 第2回伊都図書館運営委員会 23 さくらサイエンスプロジェクト（アジアの高校教員）10名来訪
9	4 九大インターンシップ受入（～15日） 8 第4回農学研究院図書委員会（書面回議） 14 九州地区目録講習会（～15日）	12 第4回医学図書館運営委員会（書面回議）			1 第3回伊都図書館運営委員会（書面回議） 25 第4回伊都図書館運営委員会（書面回議）
10	1 写真展「ありがとう箱崎キャンパス」（～H30年7月31日） 13 これからの学術情報システムに関する意見交換会 20 IILF（International Image Interoperability Framework）ワークショップ in 九州	20 第65回九州地区医学図書館協議会総会 日本医学図書館協会九州・沖縄地区会総会 25 第5回医学図書館運営委員会（書面回議）			10 第1回伊都図書館学生用図書選定委員会（書面回議） 21 「九州大学アカデミックフェスティバル」バスツアー50名来訪 23 第5回伊都図書館運営委員会（書面回議）
11	17 シンポジウム「情報管理専門職をめぐる民間企業と大学・学界」 24 第5回農学研究院図書委員会（書面回議）	27 第1回日本医学図書館協会地区会事務局連絡会議		7 第2回筑紫図書館図書資料選定委員会（書面回議）	13 第6回伊都図書館運営委員会（書面回議） 27 マレーシア国民大学10名来訪
12	1 図書館計算機システムリプレイス	8 第25回九州地区医学図書館員セミナー		13 第2回筑紫図書館運営委員会 19 第3回筑紫図書館図書資料選定委員会（書面回議）	19 第1回伊都図書館長候補者選考委員会（書面回議） 20 第7回伊都図書館運営委員会（書面回議）
H30 (2018) 1	5 展示「箱崎街角スケッチ」（～3月31日） 15-16 「Computational Archival Science (CAS)」講演会	22 第6回医学図書館運営委員会（書面回議）		18 第3回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	
2	6 国際シンポジウム「『春水』手稿と日中の文学交流一周作人、冰心、濱一衛」 14 第6回農学研究院図書委員会（書面回議） 14 Q-RADeRSからの九州大学学術情報リポジトリ（QIR）登録方法説明会（箱崎文系地区） 21 Q-RADeRSからの九州大学学術情報リポジトリ（QIR）登録方法説明会（箱崎理系地区）				2 第2回伊都図書館長候補者選考委員会 19 全州新興高等学校（韓国チエンジュシメン高校）22名来訪
3	1 展示「金田平一郎と九州大学附属図書館」（～26日） 5 Q-RADeRSからの九州大学学術情報リポジトリ（QIR）登録方法説明会（筑紫地区） 7 Q-RADeRSからの九州大学学術情報リポジトリ（QIR）登録方法説明会（病院地区） 9 Q-RADeRSからの九州大学学術情報リポジトリ（QIR）登録方法説明会（伊都地区） 13 第7回農学研究院図書委員会（書面回議） 14 Q-RADeRSからの九州大学学術情報リポジトリ（QIR）登録方法説明会（大橋地区）	12 第7回医学図書館運営委員会			13 第8回伊都図書館運営委員会（書面回議） 14 バリ教育交流協会（インドネシアの高校生）19名来訪

文系合同図書室	記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
		27 第1回運営委員会		19 第47回九州地区国立大学図書館協会総会（ホテルセントヒル長崎） 20 第68回九州地区大学図書館協議会総会（ホテルセントヒル長崎）
		15 FD 電子教材著作権講習会（箱崎キャンパス、病院キャンパス、伊都キャンパス）		17 国立大学図書館協会春季理事会（東京大学） 26 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（福岡女子大学）
7 第1回経済学部研究室委員会	21 記録資料館運営委員会（書面回議）		30 館長会議	22・23 国立大学図書館協会総会（TKP ガーデンシティ千葉）
19 第1回法学部図書委員会 21 第1回文系合同図書室運営委員会	24 第35回記録資料館運営委員会		4 第223回附属図書館商議委員会	
5 文系オープンキャンパス向け開室 8 第2回法学部図書委員会（書面回議） 26 書庫害虫駆除			2 第1回学生用図書選定委員会（書面回議）	
	22 記録資料館運営委員会（書面回議）		6 第1回大型図書資料選定委員会	14・15 国立大学図書館協会地区協会助成事業「平成29年度九州地区目録講習会」（琉球大学） 29 第1回日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会（主婦会館）
23 第3回法学部図書委員会（書面回議）		17 第2回運営委員会		24 国立大学図書館協会秋季理事会（名古屋大学） 27 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議（長崎大学）
15 第4回法学部図書委員会 22 第2回経済学部研究室委員会 30 第1回文学部図書委員会（書面回議）	28 記録資料館運営委員会（書面回議）		27 第2回大型図書資料選定委員会	10 九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議（九州大学）
8 第2回文系合同図書室運営委員会 27 第5回法学部図書委員会（書面回議）		25 FD 電子教材著作権講習会（病院キャンパス、伊都キャンパス）	11 館長会議 15 第224回附属図書館商議委員会	15 国立大学図書館協会地区協会助成事業「平成29年度電子書籍の購読と利用促進」（熊本大学） 21 平成29年度国立大学図書館協会シンポジウム（東京大学）
		10 JMOOC 講座「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」再開講（～1/31） 2 第3回運営委員会 17 JMOOC 講座「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」反転授業		31 国立七大学附属図書館協議会（東京大学）
30 文系合同図書室 閉室	5 記録資料館運営委員会（書面回議）	1 FD 著作権セミナー	6 館長会議 6 第225回附属図書館商議委員会 14 第1回旧植民地関係資料の整理に係る専門委員会	8 第2回日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会（主婦会館）

平成30(2018)年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

製 作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY